

防災だより

その56

防災専門官 野田 秀敏

2021年の防災のまとめ

本年掲載した「防災だより」についてまとめました。

1月号：災害時の非常持出品と備蓄品、消費しながら備蓄する「ローリングストック法」など

3月号：ペットの避難と防災対策、避難所で過ごすときの注意点

5月号：地震に対する日頃の備えと自主防災組織について

6月号：【特集】避難情報改定、災害時に備えた避難行動要支援者の登録、コロナ禍の避難ポイント、福岡県および本市の災害情報配信サービス、KBC（1チャンネル）dボタンによる情報発信について

7月号：梅雨に伴う大雨や豪雨に備える、災害時の新型コロナウイルス感染症対策など

9月号：台風から命を守るには

今回は、本年最後の防災だよりですので、再度、全体を通して大切な点を掲載します。災害に対する知識を整理し防災への意識を高めるようにしましょう。

●避難情報に注意しましょう

市は、改定後避難情報の警戒レベル3「高齢者等避難」の発令前に、土砂災害の危険がある特別警戒区域（レッドゾーン）、警戒区域（イエローゾーン）および御笠川の浸水想定区域の住民などのために、次の3カ所を自主避難所として開設しています。

- ① 太宰府館
- ② プラム・カルコア太宰府（中央公民館）
- ③ とびうめアリーナ（総合体育館）

災害時に不安を感じる人は、防災安全課へ自主避難所の開設有無を確認し、早めの避難を心がけましょう。

次に、メディアなどで事前に情報入手できる災害には余裕をもって対応できますが、停電や地震などが突然発生した際、情報はどのように入手しますか？

日頃から、携帯ラジオの準備をしておくこと、災害・避難情報が自動的に入手できる県の「防災メール・まもるくん」や本市の「災害情報配信サービス」に事前登録しておくこと、またスマートフォンやタブレットなどに必要な防災アプリをダウンロードしておくなどしましょう。



●ペット同伴避難所を新設しています

広報だざいふ3月号にペットの「同行避難」と「同伴避難」について掲載しましたが、梅雨前の6月から、松川運動公園体育館（御笠5-3-1）にペットが同伴できる避難所を開設しました。

8月豪雨の際には、早速、ペットを同伴した避難（ペットと一緒に体育館内で過ごす）がありました。車両も約40台駐車でき、犬、

猫や小型動物（大型動物や危険動物を除く）であれば避難所で受け入れができます。飼い主とペットに必要な携行品などは必ず飼い主が準備して同伴避難してください。

なお、各自治会の公民館や共同利用施設へのペットの避難は、施設の規模や機能などにより制約があり同行避難が限られますので、平素から各施設に確認をしておきましょう。

●コロナ禍の避難について

新型コロナウイルスや変異株の猛威に伴い、9月には「緊急事態宣言」が再延長されるなどしました。コロナ禍における災害時の避難は、多様な避難（分散避難）を検討しましょう。

① **避難所避難**：避難時は、マスク、手指消毒液、体温計、スリッパなどを携行し、距離を取ることで3密対策をして安全を確保しましょう。

② **在宅避難**：風水害は2階以上への垂直避難、地震で自宅に被害がない場合は、動かない避難として自宅の安全な場所に避難しましょう。

う。

③ **縁故先避難**：親戚宅や友人宅に被害がなく無事で受け入れ可能な場合は利用しましょう。

④ **青空避難**：安全な駐車場で車両内への避難やテント利用による青空避難もあります。車両内の避難時は、足を延ばして就寝しエコノミークラス症候群に注意しましょう。

⑤ **ホテル避難**：経費はかかりますが、事前に予約ができれば安全で快適な避難が安心です。

11月に入り、風水害や台風の影響は和らぎますが、本市の直下を縦断する警固活断層の脅威は依然、継続中であることを忘れてはなりません。

「天災は忘れたる頃来る」時代から「災害は毎年やって来る」時代へ大きく変化しました。この変化に対しあなたは準備と対応ができていますか？自分の命は自分で守れますか？（**自助**）自分たちの地域を守る態勢は整っていますか？（**共助**）もう一度、自分自身に問いかけて、災害への対応力を高めましょう。